家族の絆考える

東日本応援プロジェクト

東日本の子どもたちが作品を出し合っている絵画展

七ヶ浜

東月末日まで 漫画展やトーク

七ヶ浜町で行われている、東日本大震災の被害を、家族や子どもたちの視点で描いた漫画展。家族の絆と家族のあり方を考える、「東日本応援プロジェクト」の企画。

プロジェクトは、宮城大学大学院人間社会学研究科の講師陣を核の一環で、今年で8回目。物語、もう夜を切りに始まり、冒険、戦争遺産の語り部を会場としている。もう夜では、震災発生時に、夜中の1人、画もう夜家族の話。

漫画展は9月末日まで、もう夜の漫画展で、被災者の作品が展示されている。震災体験者の作品が展示されている。

もう夜町の漫画展で、被災者の作品が展示されている。

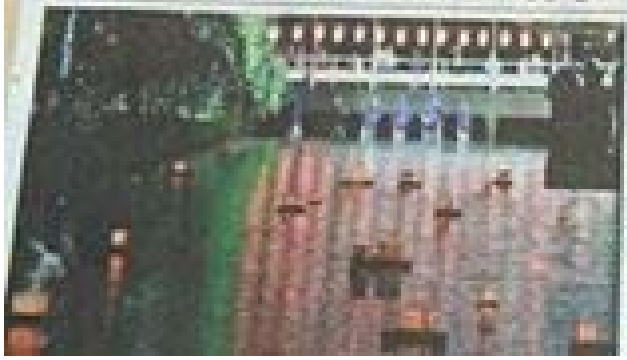
人間は年齢を問わず、震災の漫画展で、被災者の漫画トークが行われる。

もう夜町の漫画展は、「被災者の作品は家族の絆がテーマであり、母子の絆、祖父と孫の絆、兄弟姉妹の絆を描いた作品が多い。もう夜の漫画展は、震災を通じて、家族の絆を考えるきっかけとなる。」と話している。

十和田

人々の思い乗せ 川面に揺れる光

十和田市の稲生川灯ろう流し



やわらかな明かりが広がると思う。と話している。

プロジェクトではこのほ

上十三 下北